

月刊 まつなみ

平成18年
11 November
月号
No.85



問
い
か
け
に

笑
顔
で
答
え
る

心
が
け

里の秋

静かな静かな 里の秋

お背戸に木の魅の落ちる夜は

ああ 母さんとただ二人

栗の未煮てます いろいろばた

明るい明るい星の空

鳴き鳴き夜鴨の 渡る夜は

ああ 父さんのあの笑顔

栗の実 食べては 思い出す

医療法人 蘇西厚生会 理念

私たちは、地域住民の皆様に、安全で質の高い
医療・福祉を効率的かつ継続的に提供する

基本方針

私たちは 地域中核病院を有する法人として
医療環境の変化に対応した質の高い
保健・医療・福祉サービスの提供を通して
地域社会と共に発展をめざします

私たちは 患者様や利用者の方の
プライバシーを守るとともに 権利を尊重し
根拠に基づいた医療・福祉サービス
誇りを持って提供できるよう努力します

私たちは 経営の安定と組織の
活性化を図ることにより
職員の働きがいと向上を追求するとともに
職員の生活が安定し向上するよう努力します

目 次

- 胃がんとは？
- 病院内全館停電による電気設備の点検
11月のお知らせ
- 外来基本診療体制

松波総合病院ホームページ

<http://www.matsunami-hsp.or.jp/>

胃がんとは？

消化器外科部長 上田 修久

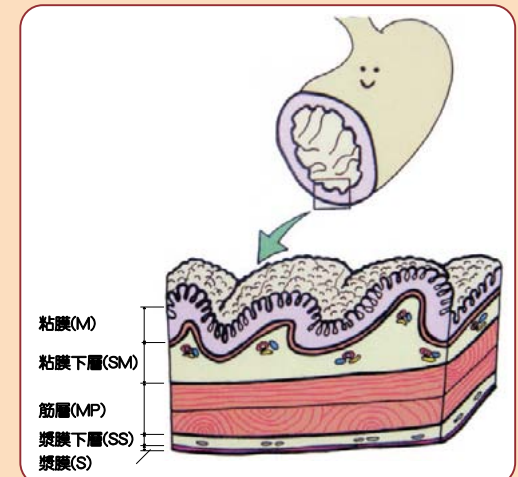
日本人の死因1位はがんで(32.1%)、2位は心疾患(15.5%)、3位は脳血管疾患(12.4%)でこの三大死因で約60%を占めています。第一位であるがんのうち、消化器がんはその上位を占めており、2003年の厚生労働省の調査によれば、約5万人が胃癌で生命を落としています。そこで今回は胃癌についてお話させていただきます。



【胃壁の構造とがん】

胃壁は5つの層に分けられ、最も内側が胃液や粘液を分泌する粘膜(M)がありその下側を粘膜下層(SM)といいます。そして胃を動かす厚い筋肉がある筋層(MP)があり、最も外側が臓器を覆っている漿膜下層(SS)、漿膜(S)と呼ばれています。胃がんは粘膜から発生し、徐々に胃の壁の深くに進んでいきます。粘膜下層までにとどまっていると早期胃がん、筋層まで達したら進行胃がんとなります。

早期胃がんであれば90%以上が治る可能性があります。ただし、スキルス胃がんというタイプの胃がんは胃の表面にでるのではなく、胃壁の中を拡がって進行するタイプの胃がんであり、発見しにくく、また進行も早いいため早期発見が難しいとされています。

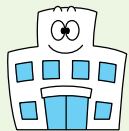


【症状・検査・治療】

早期胃がんの場合には特徴的な症状はほとんどありません。健康診断やがん検診の普及により自覚症状が無いうちに胃がんを発見できるケースも増えています。また、潰瘍を伴った胃がんでは「胸焼け」や「胃がむかむかする」といった症状を訴える人もいます。他に「消化不良」「膨満感」「食欲不振」などが起こることもあります。がんから出血すると吐血したり血便がでたりすることもあります。進行した胃がんでは「食べ物が喉を通りにくい」、「体重減少」、「貧血」などの症状が出てくることが多いので異常に気が付いたときには医療機関を受診して下さい。

検査はご存知のかたも多いと思いますが、主にX線検査(バリウム)と内視鏡検査があります。どちらかと言うと内視鏡検査をおすすめします。というのはこまかな色の変化や凹凸がわかり、がんが疑われる場合には粘膜の一部を採取し、顕微鏡を使った検査をして確定診断ができるからです。当院では太さ約5mmの極細内視鏡を用いた鼻からの内視鏡検査も行っております。これは、従来の口からの内視鏡検査に比べ苦痛が少なく、吐き気が起きにくいという特徴があります。

胃癌の治療には内視鏡を使った治療と手術療法と化学療法(薬物療法)があります。CTや超音波検査でがんの進み具合を慎重に判断し、日本胃癌学会によって作成された「胃癌治療ガイドライン」にそった治療法をおすすめしていますが、最終的にはそれぞれの長所短所をよくご説明し患者様・ご家族とともに話し合いながら治療法を決めております。また当院では腹腔鏡という内視鏡の一種でお腹の中をみながら手術する腹腔鏡補助下胃切除術なども取り入れ低侵襲で早期社会復帰できるようなところをけております。



病院内全館停電による電気設備の点検

クオリティー管理部 足立

10/14(土)、午後2時より5時まで、病院内全館停電による電気設備の法定検査を行いました。これは、法律で定められた電気設備の点検で毎年義務付けられています。

例えば、非常電源など万が一に備えて最低限の電源確保のため、実際に活用しての点検が必要となります。当日は、そのため、皆様には大変ご不便をおかけしましたが、通常の診察を若干早めに終了し確実に検査・試験できるようにさせていただきました。

皆様のご協力により、検査はスムーズにはこび、結果は設備に問題なく使用可能と再確認できました。電気が自由に使えないという感覚、特に医療現場において、そのような事態がおきても対応できるように努力しています。

また、毎年行っておりますが、事前に3回院内での打ち合わせし、万全の対応を心がけています。

今後とも、地域の中核的医療機関として、皆様に安心できる医療を提供できるように努力していきたいと思っております。

これからも、皆様のご理解とご協力をお願い致します。



11月 お知らせ

■糖尿病教室 ※糖尿病が気になる方はどなたでも気軽に参加ください。

- 基礎コース…8日(木)、15日(木)、22日(木)、29日(木)
3階講堂にて午後2時~4時
- 秋の特別講演…11日(水) 3階講堂にて午後2時~4時
- 毎週水、金曜日、5階病棟デイルームにて午後1時~2時

尚、都合により日時等変更する場合がございますのでご了承ください。

